

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	感染防止と利用者の自由な動きの抑制との関連を考慮し、開錠についても検討してはいかがか。	感染状況・利用者様の安全面も考慮し、利用者様が圧迫感を感じる事のないような環境作り・サービスの提供。	利用者様の言動を良く観察し、ベランダや庭を活用しながら圧迫感の軽減を図る。	12ヶ月
2	35 (13)	水害時の避難経験も活かし火災などの災害に備え、判断の難しさが職員の行動に影響しない様、自主訓練の回数を増やしていただきたい。	毎月1回の自主避難訓練。	コロナ渦の影響により中断していたが、現在は月1回訓練を行っている。事前に日程を決めホワイトボードに予定を入れ、月ごとの担当者が実施。	1ヶ月
3	36 (14)	利用者への配慮として、異性介助になる際には確認の声掛けを行ってはいかがか。	利用者への異性介助の承諾、確認。	入浴の案内を行うとき、担当の職員が利用者に自分が介助に入って良いか声掛け、確認を行う。	日より実施
4	45 (17)	夏場や汚染時には連日入浴支援のチェックが記録されているが、入浴のアナウンスを継続していただき、入浴支援と汚染時の支援との区別を明確にはいかがか。	記録の明確化・統一化。	ケア記録への記載は行っていたが、排泄チェック表への記載が職員により行えていなかった為、職員教育も含め再度徹底して行く。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。